



ペリーくん

〒519-0505 伊勢市小俣町本町2番地 (電話) 0596-29-3900 (FAX) 0596-29-3902

小俣図書館 図書館行事 ご案内!

おはなし会 1階・おはなしのへや

5月12日(土) たんぽぽおはなし会、午後3時～

5月20日(日) ピッコの会・紙芝居、午前11時～

★図書館おはなし会&工作

(1階・おはなしのへや)

(日時) 5月26日(土) 午後3時～

(対象) 3歳～小学生(就学前の子どもは保護者同伴)

(内容) おはなしを読んだ後、かたつむりを作る工作をします。



★「赤ちゃんおはなし会」 1階・おはなしのへや

5月10日(木) 午前11時～

◆上映会 2階・視聴覚室

5月19日(土) 午後2時～

「こま撮りえいが こまねこ」

人形アニメーション《60分》

※おはなし会、上映会の事前申込みは不要です。

～読書週間関連行事～

「みんなのおすすめ本棚」



募集期間 4月21日(土)～5月10日(木)
展示期間 4月21日(土)～6月7日(木)
場所 カウンター及び玄関壁面

みんなのおすすめの本の名前と書いた人を「本カード」に書いてね。みんなが書いてくれた「本カード」は、玄関入口の「みんなのおすすめ本棚」に展示するよ。本の感想を書いてくれる人は「しおりカード」も一緒に書いてね。おもしろかったところ、感動したことがあったら教えてね!

英字新聞紙で作る eco バッグの会

日時 6月2日(土) 午後2時～
対象 誰でも参加可(小学生以下は保護者同伴)
場所 2階・会議室
定員 20人(先着順)
申込み 5月12日(土) 午前9時～

小俣図書館カウンターへ(電話可)



英字新聞紙でエコバッグを作ります!



開館時間 午前9時～午後7時

休館日 毎週火曜日、第2金曜日

年末年始、特別整理期間

貸出 1人10冊2週間以内(うち雑誌は5冊まで)

1団体50冊1ヶ月以内(うち雑誌は25冊まで)

小俣図書館カレンダー

5月

6月

日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5						1	2
6	7	8	9	10	11	12	3	4	5	6	7	8	9
13	14	15	16	17	18	19	10	11	12	13	14	15	16
20	21	22	23	24	25	26	17	18	19	20	21	22	23
27	28	29	30	31			24	25	26	27	28	29	30



人材育成講座

ブックドクターの「伝えたい!! 子供の力・本の力」

朗 天狗のしんさんによる、子どもの本の紹介や子どもと本との関わり方などのお話。

6月10日(日) 午後2時～
(開場 午後1時45分～)

場所 2階・会議室
対象 子どもの本に関心のある方(成人対象)

定員 30人(先着順)
申込み 5月12日(土) 午前9時～
小俣図書館カウンターへ(電話可)

(編集・発行) 伊勢市立伊勢図書館 指定管理者/株式会社 図書館流通センター (住所) 〒516-0076 伊勢市八日市場町13-35 (電話) 0596-21-0077 (FAX) 0596-21-0078 (ホームページ) http://iselib.city.ise.mie.jp/



「おはなし会」

《日時》毎週土曜日 午後2時30分～

《場所》1階・おはなしコーナー

5月5日/おにいさん、おねえさんによる おはなし会
5月12日・19日・26日
/おはなしブーさんによる おはなし会

えほんのよみかかせ、かみしばいなどをやっています☆



「あかちゃんえほんのじかん」

《日時》5月24日(木) 午前11時～

《場所》2階・視聴覚室

《内容》あかちゃんむけの絵本の紹介や、手あそびなどをします♪

あかちゃんえほんのじかんは、毎月第4木曜日です★

気持ちの良い風の吹く季節です! ついつい、出掛けたくなります。外で本を読んで、くつろぐのもいいですね♪

* おはなし会、あかちゃんえほんのじかん、上映会は、申込不要ですので、どうぞお気軽にご参加くださいね!



上映会は、毎月第2日曜日に開催しております。



「上映会」

《日時》5月13日(日) 午後1時30分～

《場所》2階・視聴覚室

『ターミネーター2』

時代は前作から10年後。未来の人間の指導者、ジョン・コナーは青年へと成長していた。そこへ再び、ジョンを殺すため、またはジョンを守るため、2体のターミネーターが未来からやってきた。

アメリカのSF映画。

<日本語吹き替え> <上映時間 153分>



「施設抽選会」(7月～9月分)

《日時》5月4日(金・祝) 午前10時～

*受付は午前9時50分からになります。

《場所》2階・視聴覚室



開館時間 午前9時～午後7時

休館日 毎週水曜・第2金曜・年末年始・特別整理期間

貸出 1人10冊2週間以内(うち雑誌は5冊まで)

1団体50冊1ヶ月以内(うち雑誌は25冊まで)

** 伊勢図書館・休館日カレンダー **

5月

6月



日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5						1	2
6	7	8	9	10	11	12	3	4	5	6	7	8	9
13	14	15	16	17	18	19	10	11	12	13	14	15	16
20	21	22	23	24	25	26	17	18	19	20	21	22	23
27	28	29	30	31			24	25	26	27	28	29	30

ふるさと文庫講演会

「伊勢のもの学びパート4」

《日時》6月23日(土)

～平成25年1月

の毎月第4土曜日(全8回) 午後2時～

(※)都合により日程が変更になることがあります。

《場所》2階・視聴覚室

《内容》伊勢の式年遷宮

《講師》岡田登氏(皇學館大学文学部教授)

《定員》50人程度(先着順)

《申込》5月26日(土)から、直接カウンター・

電話・FAXで伊勢図書館へ





本のごあんない

皐月とは、耕作を意味する古語「さ」から稲作の月として「きつき」になったという。漢字「皐」には神に捧げる稲の意味もある。

薫風そよぐ

Jingu Sacred Rice Paddy of May
— 5月の神宮神田 —

ふるさとの風
～皐月～

日神尊、天垣田を以ちて御田としたまふ。

(天照大御神は、御自ら神田で稲を育てている)

—日本書紀 卷第一 神代上—

稲作は神業。米には「稲魂」という魂が宿るといふ。

日本書紀の「斎庭の稲穂の神勅」によると、天照大御神の命を受けた邇邇芸命が天孫降臨の際、国民の主食にするように大御神自ら天狭田長田で育てた稲穂を授けられたのが稲作の起源とされる。

吾が高天原に御しめず斎庭の穂を以ちて、亦吾が児に御せまつるべし

—日本書紀 卷第二 神代下—

風薫る5月初旬、神宮神田では「御田植初」が行われる。

神宮神田は内宮から約3キロ下った五十鈴川のほとり、楠部町忌嶽山の裾に古のままの姿で存在する。

倭姫命の巡幸の折、「この地に五十鈴川の清らかな水を引いて稲を作りなさい」と言葉を残されたといわれる。

又伊鈴之御河之漑水道田 尔波。 苗草不敷 作食詔。

—倭姫世紀—

神様に供える御料米は、その由緒ある神宮神田で古来の方法に則して清浄に育てられている。

4月、桜の満開の頃、神田下種祭において祈りをこめて蒔かれ成長した籾種が、地元楠部町の「御田植保存会」の人々の奉仕により植えられていくのが御田植初である。

すげ笠に白い装束、赤いタスキ掛けの早乙女たちが、一列に並び田楽の囃子に合わせて早苗を植えていく。

田に張られた水に反射して写る姿は、まるで絵画のようである。

田植えが終わると大団扇2本を交差させて神田を回る“団扇合せ”が行われる。その後、神宮摂社大土御祖神社に向かい豊穰を祈り、田舞・お雛しが入り終了する。

「ハエヤーハエ、ハエヤーハエ」

早く稲が育ち豊作でありますように・・・

神宮での祭りは年間数えきれないが、その多くは稲作に関わるものである。

2月の祈年祭でその年の豊作を祈る事から始まり、収穫の喜びと感謝を込めて初穂を神様に捧げる最重儀である神嘗祭、さらに天皇陛下が新穀を召し上がる新嘗祭まで、稲を中心とした多くの祭が行われる。

山見れば高く貴し 河見ればさやけく清し 水門なす海も広し

万葉集に謳われた伊勢の美しい自然の中で春に豊作を祈り、秋の稔りに感謝する祭をつづけてきたのである。

古くから日本の国土を讃えて「豊葦原瑞穂国」と呼びならわすのも、

豊かに稲が実った様子こそが日本の原風景として捉えられているからであろう。

ドイツの化学者、ユストゥス・フォン・リーヒッヒは日本の水田耕作を「土地を永久に保つ無類の農法」と称えた。

日本人は神話の時代からその有り様を伝えてきたのである。

御田植初が終わると伊勢は初夏を迎える。

植えられたばかりの早苗が5月の風に気持ちよさそうに揺らいでいた。

➡ 神饌 神様の食事から“食の原点”を見つめる (南里空海/著 世界文化社 L174/ナ)

〔一般書〕

粹と雅

— TOKYO SKY TREE 見参 —

風薫る5月、斑鳩の青き空の下、聖徳太子の教えが息づく…。

法隆寺五重塔が建造されたのは607(推古天皇15)年。

世界最古だといわれる木造五重塔には類い希な日本人の知恵と祈りが込められている。

それから1400年の時を経て今、江戸の町に「東京スカイツリー」がそびえ立つ。

武蔵の国を一望できる事から634mの全高を持つ。生命宿るTree(木)を照らし出す2色の光…。

「粋“ブルー”」は江戸の心意気、「雅“江戸紫”」は日本人の美意識を表現。そして世界有数の地震国の日本で塔を守るのには、中心を貴く“心柱制振”である。「五重塔」が持つ日本古来の業「心柱」への敬意を込めて命名されたという。

五重塔とスカイツリー

時代は異なれどその匠の技の結晶は歴史にきざまれていく。

◎ 東京スカイツリー物語 (松瀬学/著 ベストセラーズ)

◎ スカイツリー東京下町散歩 (三浦展/著 朝日新聞出版)

◎ 五重塔 NHK美の壺 (NHK美の壺政策班/編 日本放送出版協会)

2012年5月22日

東京スカイツリー、見参

〔児童書〕

空を見上げよう、月を見よう!

2012年5月21日(月)の朝、日本では25年ぶりに金環日食をみることができます。わずか4分ほどの幻想的な瞬間を

見逃さないように、日食を知り、安全に観察しましょう!月を知る本や月のおはなしを集めました。

★黒い太陽のおはなし 日食の科学と神話(泉美千子/文 佐竹美保/絵 黒田武彦/天文監修 小学館)

★星と月のコレクション (林完次/著 フレーベル館)

★月の大研究 いちばん近くてふしぎな星 (県秀彦/監修 PHP 研究所)

★おつきさまのやくそく (いとうひろし/著 講談社)

★おひさまとおつきさまのしたで (マーガレット・ワイス・フラウン/作/ 黒井健/絵 教育画劇)

〔ヤングアダルト〕 ディズニーの111年

ウォルト・ディズニーは、去年生誕110周年を迎えました。“ディズニー”と聞くと、ディズニーランドや映画のことを

を思い浮かべる方が多いのではないのでしょうか?ディズニーランドのすてきなスタッフの秘密を知る本や、おなじみの

ディズニー映画になった本などを紹介します。

〔一般書〕

● ディズニーそうじの神様が教えてくれたこと (鎌田洋/著 ソフトバンククリエイティブ)

● ディズニーランドの秘密 (有馬哲夫/著 新潮社)

● ディズニーシネマの美味しい食卓 (ディズニーファン編集部/編 講談社)

〔児童書〕

クマのプーさん プー横町にたった家 (AA.ミルン/作 石井桃子/訳 岩波書店)

ふしぎの国のアリス (ルイス・キャロル/作 生野幸吉/訳 ジョン・テニエル/画 福音館書店)

あの映画で見た、おいしそうな料理!!自分で作れるんです。

映画とはちょっとちがう!?プーさんにいやされてみてください。

★ 伊勢・小俣図書館のどちらかに所蔵がある本です。ご利用館にない場合は、予約ができます。